

<p>ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な言葉のやり取りを楽しみながら、友だちと関わって遊ぶ。</li> <li>・友だちと一緒に、全身や遊具を使って十分に遊ぶ。</li> <li>・生活の流れがわかり、毎日繰り返して行う活動については、見通しをもって行動しようとする。</li> </ul>	<p>行事</p> <p>2、お楽しみ会 4、18、英語 14、身体測定15、避難訓練 22、冬のパーティ 26、誕生日会</p>	<p>家庭連絡</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体調を崩しやすい時期なので、体調について連絡ノートや口頭でこまめに連絡を取り合う。</li> </ul>	<p>自己評価</p> <p>気温が下がり、日によっては外遊びの時間帯を調整するなど、体調管理に気をつけて過ごした月であった。 発熱、下痢等の症状も見られてきたので、来月も気温や体調管理に気をつけていく。</p>
<p>今月の内容 (養護・教育等)</p>		<p>環境構成</p>	<p>配慮事項</p>	<p>取り組みの状況と保育士の振り返り</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・気温の変化に応じて衣類の調節を行い健康で快適に過ごせるようにする。</li> <li>・毎日繰り返して行う活動については、見通しを持って行動する。</li> <li>・便秘や尿意を感じて保育者に知らせトイレで排泄する。</li> <li>・スポンやパンツを足元に下ろして、そのまま排泄をする。</li> <li>・順番を待って、排泄・手洗いをする。</li> <li>・保育者に見守られながら、簡単な身の回りの事を自分でしようとする。</li> <li>・保育者と一緒にガラガラうがいをする。</li> <li>・歯磨きは、椅子に座って歯ブラシをもらってから行う。</li> <li>・友だちや保育者と一緒にごっこ遊びを楽しむ。</li> <li>・自分の気持ちや、思いを言葉で伝えようとする。</li> <li>・一人一人の思いに共感し、安心して自己主張できるようにする。</li> <li>・冬のパーティや年末の雰囲気に触れる。</li> <li>・片付けの合図がかかった時にもとあった場所にしっかりと戻し、片づける。</li> <li>・好きな歌を歌ったりリズムに合わせて体を自由に動かして楽しむ。</li> <li>・好きな遊びを見つけて自由に遊びを楽しむ。</li> <li>・スプーンの持ち方を意識しながら、楽しく食べる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・気温の変化を把握し快適に過ごせるように温度、湿度の調節をこまめに行う。</li> <li>・トイレや手洗い場など狭い割に一齐に使う場所は、安全に使えるよう配慮する。</li> <li>・並ぶ場所がわかるようにマークなど印を貼る。</li> <li>・着脱するスペースと、ゆとりある時間を確保する。</li> <li>・子どもたちがコップを取りやすいように置いておく。</li> <li>・椅子に座ってから、保育士が歯ブラシを渡すようにする。</li> <li>・十分に遊びが楽しめるようスペースを確保する。</li> <li>・気持ちの切り替えができるように一緒に部屋の外に出るなどスペースを変えてみる。</li> <li>・冬のパーティーに向け、製作ができるよう画用紙や絵の具などの教材を用意する。</li> <li>・季節にあった絵本や紙芝居を用意する。</li> <li>・おもちゃの置き場所をわかりやすく表記をして戻しやすいようにする。</li> <li>・自由に体を動かすことのできるように広い空間を作る。</li> <li>・子ども達が自分たちで選んでおもちゃを取りだしやすいように準備をする。</li> <li>・正しい持ち方を知らせる機会をもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の様子をよく見て健康状態を把握する。</li> <li>・子どもの様子や気温の変化に応じて衣類を調節する。</li> <li>・苦手な食べ物がある時は無理強いせず、励ましの声掛けや関わりをして援助していく。</li> <li>・排泄後の後始末の仕方をわかりやすく伝える。</li> <li>・自分でしようとする姿を見守り、出来ない所は手伝ったりやり方を伝える。出来た時はともに喜び、褒めて意欲や自信へとつなげていく。</li> <li>・保育者も一緒にうがいを手本を見せる。</li> <li>・歯ブラシを立ったまま、口に入れないよう伝える。</li> <li>・子ども達でイメージを共有して遊んでいるときはそばで見守り子どもたちなりの遊びが広がるように援助する。</li> <li>・子どもが言葉で気持ちや思いを伝えようとしているときは、落ち着いて話せるような雰囲気を心がける。片付けや活動の切り替えはわかりやすく伝え、次への見通しが持てるような言葉かけをする。</li> <li>・楽器の使い方やリズムの取り方など伝えて正しく楽器遊びができるようにする。</li> <li>・ダンスの決まりを作らずに子ども達が自由に表現できるようにする。</li> <li>・集中して遊ぶことのできる空間を作り、遊びの選択肢が増えるように保育士が遊びを一緒にして伝えていく。</li> <li>・正しくスプーンが持てるよう、一人一人のペースにあわせて援助していく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の視診で家庭との連絡を取り、健康状態を把握することができた。</li> <li>・衣類の調節、暑くおたう上着を脱ぐ等、声掛けにより、自分から気づき出てきた。</li> <li>・苦手な物は、少しずつ食べられるよう励まし、援助していくことができた。</li> <li>・自分でしようとする姿を励まし、出来た時は、一緒に喜び、自信へとつなげることができた。</li> <li>・歯ブラシは、座って行うよう常に声掛け、危険のないよう見守っていくことができた。</li> <li>・子ども達で共有して遊ぶよう見守り、さりげなく遊びが広がるよう見守っていくことができた。</li> <li>・思いが言葉で伝わりやすい時は、保育士が代弁したり、見守っていくようにしていくことができた。</li> <li>・好きな遊びを自分で見つけやすいよう環境を整えたり設定することができた。</li> <li>・正しい持ち方が出来ている児をさりげなく褒めていき、持ち方を意識するようにつなげていった。</li> </ul>